
PlayStation
EXECTOR™
©1995 ARC SYSTEM WORKS CO.,LTD.

このたびは、アークシステムワークスの"PlayStation"用ゲームソフト『EXECTOR』をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、この「解説書」をよくお読みいただき、正しいご使用方法でご愛用ください。

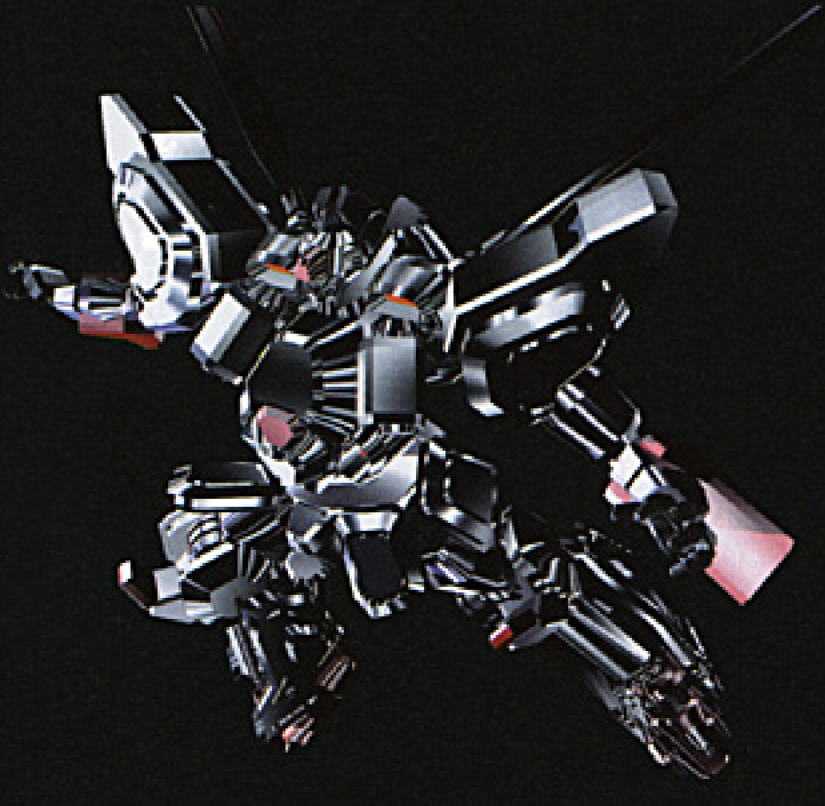
CONTENTS

For Japan Only

プレイヤー 1人

SLPS 00091

EXECTOR™



スト

主人公が乗船している惑星探査船『スピンドリフト号』は、3日前に消息を絶った無人探査機NO.00511号の調査のため、惑星「TUBOY」の辺境宙域を訪れた。

惑星「TUBOY」軌道上付近を探索し始めてから数時間後、何者かの襲撃を受けて、かろうじて原形をとどめているだけという無残な姿でNO.00511号が発見された。

スピンドリフト号はNO.00511号のブラックボックスを回収している最中に突然、惑星上から攻撃を受け、メインエンジンと通信設備に大きな被害を受けてしまったが、かろうじて衛星の影に逃げ込むことができた。

探査船の応急修理もある程度めどがつき、クルーたちも冷静に状況を分析できるようになった数時間後、無人探査機のブラックボックス解析



ーリー



により、驚くべき二つの事実が判明した。ひとつは惑星「TUBOY」の異星文明は、すべての生物を滅ぼすようにプログラムされた殺戮ロボットによって自滅したこと。ふたつめは無人探査機NO.00511号によって、「地球」の存在を知った殺戮ロボットたちが深海で巨大な宇宙戦艦を建造しつつある事実である。

　そこでスピンドリフト号のクルーたちは、敵宇宙戦艦が発進する前に内部から破壊する作戦を計画した。そして、3人のパイロットと3機の最新鋭全域汎用スペースパワードトレーサー" EXECTOR "に全人類の未来と希望を託すことに決定した。

　しかし、敵惑星の地表にたどり着く前にほかの2機は破壊されてしまい、最後のパイロットは誰からの支援もない孤独な戦いにおもむくのだった。



L1ボタン　：視点を上昇させることができます。
L2ボタン　：視点を下降させることができます。
R1ボタン　：方向キーを押した左右方向に高速平行移動することができます。
R2ボタン　：高速ホバー移動をすることができますが、高速時に障害物にぶつかるとバランスを崩す場合があります。また、なかには体当たりすることによって破壊できる障害物が存在します。
スタートボタン　：ゲームを一時、中断することができます。マップを表示しているときには、マップが拡大します。
セレクトボタン　：コクピットビューモードとクォータートップビューモードの２つの視点を切り替えることができます。
方向キー　：上下で前進後退、左右で旋回することができます。
△ボタン　：ストックされている必殺ウェポンをひとつ使用します。
○ボタン　：レーザー系の武器を発射します。
□ボタン　：マップの表示／非表示を切り替えます。
×ボタン　：実装弾系の武器を発射します。



残りタイム数　　：ゲーム開始時から10時間タイマーが作動し始めます。この数値が0になると敵宇宙戦艦は地球めざして発進してしまいます。
スコアー　　　　：倒した敵によって得点が加算されます。
シールドメーター：敵の攻撃を受けることに減少していきます。このメーターが無くなるとシールドが張れなくなり、" EXECTOR " は爆発してしまいます。
必殺アイコン　　：必殺ウェポンを取ると、その種類ごとにアイコンが表示されていき、上から順番に使用していきます。
レーザーアイコン：レーザーカートリッジのパワーアップレベルが表示されます。
実装弾系アイコン：現在、装備しているカートリッジの種類と、パワーアップレベルが表示されます。
ヒートメーター　：稼動熱の蓄積状態を表しており、ホバー移動や攻撃し続けることによってメーターが上昇していき、ゲージがいっぱいになるとオーバーヒートになってしまいます。なお、メーターは一定の割合で自然に回復していきます。

ゲーム概要

迷宮と化した惑星内部は、全部で5つのステージに区切られています。それぞれのステージはいくつかのゾーンにわかれており、各ステージの最終ゾーンにはボスが存在します。『EXECTOR』はパワーアップカートリッジや回復アイテムを取得しながら、敵とリアルタイムシューティングで戦っていきます。迷宮を進んでいくにはIDカードを探しだし、閉ざされたドアを突破しなくてはいけません。なお、IDカードは取得したステージのドアにしか対応していないため、新たなステージに進入した場合には、新しいIDカードを探し出さなければなりません。



スタート選択画面

オープニングムービー終了後にスタート選択画面が表示されます。方向キーの左右でGAMESTARTかOPTIONSを選択して、STARTボタンで決定してください。GAMESTARTを選択した場合にはNEWGAMEとPASSWORDが選択でき、NEWGAMEは最初から、PASSWORDはゲームオーバー時にでるパスワードを入力すれば、前回攻略したステージの最初からゲームを開始できます。

OPTIONSはゲームレベルの選択とBGM／効果音が聞けます。



エグゼクター設定資料

全幅（展開時）：4.85m　全幅（格納時）：2.15m
全長（展開時）：5.25m
乾燥自重　：550Kg　最大自重　：830Kg
主発動機名称　：
　山宮重工／Y＆M／ARC－2001熱核タービン
主発動機推力　：800Kg／反応炉出力350MW
主発動機基数　：2基
　オプション飛行用推力バーニア2基
　低推力バーニア6基

最大速度　基飛行時　：M3.55／28500m
　巡航速度　：M1.88
　走行時　：40Km
　ホバー走行時：125Km
登坂能力　：65°以上
水中耐圧　：50m
単独大気圏突入可能

モニターターレット上にマウント　レーザー機銃1門
　パルス・レーザー　出力2500Kw　発射パルス幅400／250／Sec
肩、腕、脚のウェポン・ラック　グレネード・クラッシヤー×48
胸部左右　ゼクターサイクロード／ゼクターバーニング（カートリッジ）
脚部内蔵ホルスター格納式　ジェノサイド・ガン
　電動3連ガトリング式機関砲　ウラニウム・ペネレーター使用

　アイテムはマップ内に配置されていたり、敵を倒すとその残骸から取得することができます。また、同じ"カートリッジ"を取り続けると攻撃力が、パワーアップしていきます。しかし違う種類の"カートリッジ"を取ってしまうと、武装はその"カートリッジ"の初期状態のものが装備されてしまいます。
　必殺ウェポンは威力は大きいのですが、一度使用すると無くなってしまいます。しかし、違う種類の必殺ウェポンを何個でもストックすることが可能です。

ゼクターミサイル



高性能炸薬を内蔵したミサイルを発射するカートリッジ。

ゼクターホーミングミサイル



敵を自動追尾するミサイルを発射するカートリッジ。

ゼクターグレネードポッド



爆風の威力で広範囲にダメージを与えるグレネード弾を発射するカートリッジ。

ゼクタージェノサイドガン



高速徹甲弾を連射するマシンガンカートリッジ。威力は小さいが、障害物を貫通して攻撃することができる。

ゼクターレーザー



高出力レーザーを発射するカートリッジ。

ゼクターオールウェポン



全方向にミサイルを発射する必殺ウェポン。

ゼクターサイクロード



動力エネルギーを高圧プラズマに変換して、全方向に放射する必殺ウェポン。

ゼクターバーニング



前方の広範囲に、高密度の火炎を放射する必殺ウェポン。

ゼクターシールドS



シールドエネルギーを20%回復する。

ゼクターシールドL



シールドエネルギーを50%回復する。

ゼクタークーリングデバイス



放熱速度を瞬間的に高め、ヒートメーターを100%減少させる。

IDカード



青、赤、黄のレベルが違う3枚のIDカードが存在し、それぞれのレベルに対応した扉を開けることができる。

ある一定以上同じ"カートリッジ"を装備することによって、以下の3種類の特殊兵装が"EXECTOR"に追加装備されます。

○エグゼクターキャノン

○エグゼクターフレイムユニット

○エグゼクターレーザーリフレクター

また、レーザーリフレクターだけはエネミーのレーザー攻撃を防ぐことができ、"シャイニングクラッシャー"を放つことができます。なお、このほかにも隠されたアイテムが存在します。

STAGE 1



研究所

異星人によって遥か昔に建てられた研究施設です。警備ロボットの群が"EXECTOR"を待ち受けています。

STAGE 2



遺跡発掘現場

地底の大空洞に広がる広大な発掘現場では、さまざまな作業ロボットが"EXECTOR"の前に立ちふさがります。

敵宇宙戦艦
ために、突
ばならない
数々……

STA



地下

遥か昔に異星人
都市です。異星人
も不気味なロボッ
守り続けています

を破壊する
破しなけれ
ステージの

GE 3



都市

たちが住んでいた
たちが滅びたあと
トたちは、遺跡を
。

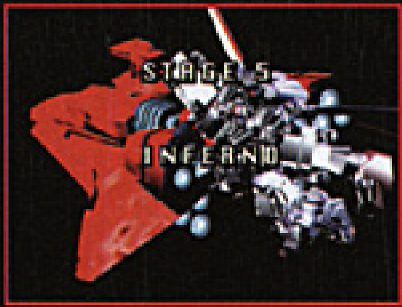
宇宙戦艦

地球を目指す異星人の宇宙戦艦の内部に侵入した“EXECTOR”は、狂った戦闘ロボットを倒しながら心臓部を目指します。

STAGE 4



STAGE 5



海底基地

自動工場の海底資源を集めるために造られた海底基地です。この基地には改造された生物機械たちが、宇宙戦艦を守るため、“EXECTOR”を待ち受けています。

“EXECTOR”の行く手を阻むメタルマシン群… 彼らは、ただのロボットなのか、それともメカノイドなのかは今のところまだ確認されていない。しかし、無人探査機NO.00511号の記録から、メタルマシンが爆発した際に、その爆風のなかから小さい人影のようなものが走り去る映像が発見された。が、映像が粗く分析はできなかった。もし、その人影らしきものがバイオノイドもしくはメカノイドだとしたら、“EXECTOR”の戦いはさらに厳しいものになるだろう…。







STAGE 1の メタルマシン群







使用上のご注意

●このディスクは家庭用ビデオゲーム・コンピュータ"PlayStation"専用のソフトです。他の機種でお使いになると、機器等の故障の原因や耳等の身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●このディスクは NTSC J マークあるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の"PlayStation"にのみ対応しています。海外仕様の"PlayStation"では使用できません。●「解説書」および"PlayStation"本体の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい使用方法でご愛用ください。

●このディスクを"PlayStation"本体にセットする場合は、必ずレーベル面（タイトル等が印刷されている面）を上にしてください。また、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後"PlayStation"本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープンボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●ディスクは両面とも汚したり傷つけたりしないように注意してください。汚れた時は柔らかい布で軽く拭き取ってください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤等で補修されたディスクは誤作動の原因になりますので絶対使用しないでください。●直射日光のあたる場所、暖房機器の近く等高温の所には保管しないでください。また、湿気の多い所も避けてください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損等に関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。

●"PlayStation"本体をスクリーン投影方式のテレビ（プロジェクション・テレビ）には絶対接続しないでください。残像光量による画面焼けが生じることがあります。●ソフトによってはメモリーカードが必要な場合があります。「解説書」で確認してください。

健康上のご注意

●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。また、プレイ中の画面を見ていてこのような症状が起きた場合は、すぐに中止し医師の診察を受けてください。

CREDITS

Director/3D Modeling/All Visual：Kouki Sadamori
Main Programmer：Hiroshi Tsuboi
Programmer：Atsushi Sato
Collision Mapper：Kouichi Nishino
3D Modeling Assistant：Shinya Kawamura
Yoshinori Ono
Designer：Daisuke Ishiwatari

Sound Produce by：FEATHERED SOUND WORKS
Sound Director：Takao Suzuki
Music：Souichi Naritomi
Masahiro Kuroishi
Hajime Asano
Takeshi Matsuoka
Engineer：Chikara Inao

Marketing/Manual Editing：Mitsunori Yamazaki
Publicity：Hidetoshi Miyashita
Special Thanks：Hiroyasu Ikeuchi
Haruhiko Endo
Ryunosuke Ohshima
Masaru Koizumi
Takeshi Goto
Yuuji Sato
Kuniko Niinuma

アークシステムワークス株式会社

〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-3-9
新横浜金子ビル
TEL：045-470-1550
FAX：045-470-1551

SLPS 00091